

会 議 録

1 会議名

平成28年度第7回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

自主的審議事項に係る検討

○報告事項（公開）

（1）牧診療所の歯科勤務医師産休中の代替医師と診療体制について

（2）民生・児童委員、主任児童委員の改選結果について

○その他（公開）

（1）平成28年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の開催について

（2）牧小学校トイレ大規模改修について

（3）平成29年度上越市新年祝賀会の開催について

（4）平成28年度冬期道路交通確保除雪計画書の配付について

3 開催日時

平成28年11月30日（水）午後6時30分から午後8時まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名（敬称略）

・委員：折笠弘志、金井貞子、佐藤祐子、清水薫、西山新平、前山美智弘、丸山 進

・事務局：牧区総合事務所 高橋所長、橋詰次長、金井グループ長、山田班長、綿貫班
長

8 発言の内容（要旨）

【山田班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山 進会長】

あいさつ

【高橋所長】

あいさつ

【丸山 進会長】

会議録の確認：前山美智弘委員に依頼

【丸山 進会長】

本日の協議事項の自主審議事項に関わる検討について、事務局から資料について説明願いたい。

【山田班長】

(資料により説明)

【丸山 進会長】

今、事務局から自主審議事項にあたり事前の心得のような説明をいただいた。あくまでも地域の皆さんの意見を参考にした中で、我々が的を絞った中で審議し、市に提案していく流れになっているので、皆さんから忌憚のない意見を聞かせていただきたい。私から参考として、総合事務所の常設相談会等々が開催された場合、それに便乗させていただくのも一つの方法として例に挙げさせていただいたが、他の方法もあればご発言いただきたい。各種集会に出向いてこられない団体等々がその時間帯によってあろうかと思う。例えば子育て世代の意見を聞くとなれば昼間平日は難しく、どうしても夜間になると思う。そのようなことについて意見を出していただきながら、それに沿って、地域のことを考えていきたいと思っている。そうすることで、今までよりも協議会の回数や時間が増え、委員への負担も多くなると思う。前山委員何かお考えはあるか。

【前山委員】

今のところはありません。

【清水委員】

自主的審議というのは、協議会の中でどうするというだけでなく、あくまでも地域に

出向いて意見を吸い上げ、それをもとに審議するというやり方なのか。

【丸山 進会長】

私も協議会委員は地域の課題等は重々承知されておられるので、協議会内で意見を出し合うことでよいと思っていたが、手引きによればそれが前提となっている。結局はここで話し合っているのと同じような意見が出てこようかと思うが、一応形式の中ではそのような前提の流れで動くようになっている。

【高橋所長】

山田班長が説明した図①の中に、地域との意見交換などを通じた地域課題の気づきという枠の中に、地域協議会委員が把握した状況という形でも上がっているので、今の会長のお話のとおり、皆さんが持つておられる情報を、自主的審議事項にしていこうという意見でまとまる場合も当然あると思う。必ず地域に出向かなければならないというものではないことをご理解いただければよいと思う。できれば地域に出向いて、地域協議会という認識を高めていただくためにも、地域との接点を多くするという意味合いでは大切な活動だとは思いますが、それが絶対ではないということだけご理解いただきたい。

【佐藤委員】

今、所長が委員の把握した状況について言われたが、例えば市の人口が全体で減ってきて、旧東頸城の区は特に人口の減少率が高いと発表された。その内、牧区は2番目に減少率が高い。牧区は活動が活発だ、元気があるなどと言っていた中で、住民が減っていくのはなぜか。私は本当によい区だ、頑張っていると思われているなら、なぜそこにとどまってもらえないのかと日頃から考えている。特にこの間、孫から学校のお友達が兄弟3人が引っ越して、学校からいなくなったと聞き、大変ショックを受けた。大きい学校ならともかく、児童が少ない学校の3人というのは非常に減少率が高い。家庭の事情を我々がとやかく言える問題ではないが、子供にとっては寂しいことである。子育て世代が定着して増えるのならありがたいが、活気のある世代にいてもらうことが牧区にとってとても大事なのではないか。高齢者に対する施策や支援は、市や振興会、民生委員もそれぞれの範囲で取り上げていただいているが、子育て世代の親は疲れている。働きながら子供をどう育てようか、くつろぐ場所や息抜きの場所があったらいいのではないか。例えばママカフェなどという意見も聞いた。そのような子育て世代への支援策が、人口の減少を止めるためにも必要ではないかと思う。地域活動団体との意見交換の中で、保

育所の保護者やPTAの方々、スポーツ関係や文化団体関係、子供をいろいろな活動で指導や援助してくださっている団体の方々との話し合いをしてはいかがか。

【丸山 進会長】

佐藤委員から、広く全般に声をかけるのも悪くはないが、的を絞り子育て世代の皆さんと意見交換しながら、審議事項等を検討していったらどうかとの提案があったが、その他の意見はないか。

先日の地域協議会会長会議の中でも、やはりそのような意見が出された。これからPTA、あるいは若者等々から積極的な意見を吸い上げるための対話集会のような会が必要ではないか。また実際に実施されている地区もあるとの発表もあった。今、牧区だけではなく全国的に少子化時代に入っている。ましてこの中山間地地区においては、若者の定着率が低いとのことであり、大変な問題と認識している。我々だけで解決できるような問題ではないが、危機的な関心を持って取り組んでいくことで、何かしら共鳴、同調していただけるような地域になっていけばよいなと思っている。

幸いにして、牧中学校の生徒さんがTシャツを作り、子供自ら牧が好きだと発信する運動をされている。それを大人が見ているだけでなく、一緒に同調した中で、その地域を盛り上げるような活動にしていくにはどうすればよいのかも、一つの検討課題だと思う。女性の立場から、金井委員のご意見はどうか。

【金井委員】

川上地区にも子供が2、3人いるが、地域によっては子供がもう何年もいないという状態なので、6月に牧っ子探検隊で子供たちが来てくれた時に、自分の子供ではないにしろ、触れ合えたことは嬉しかったし、よいことだと思う。ただ、保育園の子供や親と話し合いを持てば、自分としてはいろいろな話をできるのではないかと思うが、地区へ出て話し合いを持つのであれば、川上地区や原地区でなく、さらに集落の中へ入り話を聞いた方が詳しい意見が聞けるのではと思う。

【丸山 進会長】

金井委員から、5地区単位の打合せでは会場に来られる人が限られるので、もう少し細かな大字単位くらいまで出向いて行けば、杖をついてでも腰を曲げてでも、歩いて来れる範囲の皆さんから来ていただけるので、広く意見を聞くことができるのではないかという提案がされた。全員から意見をお聴きしたい。折笠委員のご意見はどうか。

【折笠委員】

わかりません。

【西山委員】

自分なりに考えたが、やはり町内会長を対象にすると、形通りのやり方では大きな問題点が出てこないのではないかと。牧中学校に限らず、地区に入りこもうとする教育を全体でやっているようだ。小・中一貫校の指定の場合、特に小・中学校まして保育園からずっと同じメンバーで中学校まで上がってくるという形の中では、新たな刺激がない状況。この度、市長と話す機会があったが、高齢者が亡くなる人数相当の子供が生まれていないため、人口減は上越に限らず起きているという話を聞き、なるほどと思った。佐藤委員の話にもあったが、仲間でした子供が急にいなくなり寂しくなる。それがずるずると引きずる可能性もある。お母さん方と話ができる機会は、よいアイデアであるという思いになってきた。

私も仕事柄、小・中学生と接する機会もあるので、どこにおじいちゃん、おばあちゃんがいて、お母さんは入院しているなど、子供の家の状況までわかってしまう。子供の話をよく聞くと逆にいろいろな事情がわかり、現に子育て中の人の話を聞いて、行政が絡むような話も当然出てくるとは思うが、理解してあげるだけでもいいのかなと思っている。

【丸山 進会長】

ひととおりお話を聞いたが、今日は委員の出席人数が少なく、皆さんからの意見を聞くことはできなかったが、問題は1つでなくてもよい。子育て支援の部分で1項目、あるいは集落に入れば高齢者レベルの要望・意見等も聞ける。そういった問題を1つずつ整理した中である程度まとめて市に提案・提言する形にし、順に消化していくような考え方でよいと思う。たくさん問題をここに自由に出して、1つの会議でどうするこうするのではなく、解決できるものから解決していく。あるいは半年かかる、1年かかるものはそれとして、順次協議していく。そのように意見を聞く場を設けさせていただきながら進めていく、というような方向づけでよいか。では、若者のご意見、小学校のPTA等にもどんな方法で集会すればよいかを聞きながら、事務局とも相談し、日程調整を行い、日程が決まり次第、若者の意見を聞く会を持ちたいと思う。

その後、金井委員・西山副会長が言われたような、各地域に出向き声を聴く方法等は、今度どのような方法でどこを会場にし、どのくらいの単位で集会を開くのか、事務局と

相談し、対応していくという順序でよろしいか。

【清水委員】

町内会長との意見交換よりもそちらの方がよいと思う。

【丸山 進会長】

恐らくそちらの方が意見は出やすいと思う。その他、別の意見はないか。

【高橋所長】

年度当初に会長から、今年は自主的審議に取り組むと明言されていたことから、各委員の皆さんはお考えをもって課題等の整理をされているとは思いますが、急に意見を求められても考えがまとまっていない部分もあり、加えて今日は欠席者も多いことから、今決まった内容については進めるということにし、皆さんも含めた他の方からも、アンケート的な様式で、ご自分が考えている自主的審議事項や、そのためにはどのような方法で意見を集約したらよいかなど、お考えを事務局の方に寄せていただき、次の議題としていく方法を提案させていただきたいと思うが、いかがか。

【丸山 進会長】

当初、皆さんと方向性を定めていただいた時に、私から今年は自主審議事項に重きを置きたいという話を皆さんにお願いした経緯がある。自主審議事項とはどういうものか、今回事務局から確認の意味で説明があった。その内容が地域住民、あるいはそれに固執する必要はないとのアドバイスを高橋所長からいただき、この委員の中での問題点、考え方でもいいということである。要するにその地区に共通の問題点であれば審議事項の対象になるとのことから、今、地域に出向いて意見を聞く方向を決めていただいたが、委員の中で特に最重点事項にする部分があれば、事務局にあげていただきながら、1つの事項ごとにここで協議をし、よりよい方向づけに持って行きたいと思っている。

また、諮問事項等が会議の中に入り、自主審議事項の協議ができない場合もあると思うので、織り交ぜた中でいきたいと思っている。意見等があればメモ等でもよいので、事務局に出していただければ、ここで再度皆さんに諮りながら、方向性を協議していきたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

【高橋所長】

自主的に皆さんからご意見をいただく方法もあるかと思うが、こちらで様式を作って

委員の皆さんから提出していただく形にさせていただいてもよろしいか。

【丸山 進会長】

そうしていただければやりやすいが、それでよいか。

(よい、との声)

では、そのようにお願いしたい。いずれにせよ、国勢調査の人口の推移等々を見ると、10%以上の減少率になってきており、現在牧区の人口は2千人を割っている状況であり、4～5年経てば皆さんが想像するような人口となる。自分たちでその危機感を持ち、人口減少のカーブを緩やかに平らにもっていくというのは至難の業なので、できる限り落ち込み、速度を緩やかにすることについて、何とかしなくてはならないと思っている。そのため、この自主的審議事項を当初から考えていたので、委員の皆さんからは、いろいろな面で、地域の皆さんの意見を聞きながら、牧区が年寄りが多いが元気のある地域となる方向に持って行きたいと思うし、1年でも長くここに住み続けていけるような地域に、我々が作っていかなくては誰も作ってくれない、そのような考え方で皆さんからご協力いただきたいと思います。以上で本日の自主的審議事項についての検討は終了する。

(これを持って、前山委員退席)

【丸山 進会長】

次に4番報告事項に移る。質疑は一括行う。

牧診療所の歯科勤務医師産休中の代替医師と診療体制について、事務局から説明願う。

【高橋所長】

(資料により説明)

【丸山 進会長】

民生・児童委員、主任児童委員の改選結果について、事務局から説明願う。

【金井グループ長】

(資料により説明)

【丸山 進会長】

以上2点について、質問等はないか。

私の方から質問させていただくが、歯科診療の先生方は高田か直江津にお住まいなのか。牧区に通うことに支障はないか。

【高橋所長】

佐野希先生は、以前は頸城区南川歯科クリニックに勤めておられたが、現在は勤務されていないため今回お引き受けいただけたと伺っている。通勤等については特に支障ないと思われる。

【丸山 進会長】

他に質問等はないか。

では、その他に移る。(1)平成28年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の開催について、事務局から説明願う。

【山田班長】

(資料により説明)

【丸山 進会長】

灯の回廊は、すでに地区ごとに第1回の会議をされていると思う。流れもそれほど変わった部分はないと思うが、質問等はあるか。

【清水委員】

第1回の実行委員会の通知はされたのか。

【事務局】

振興会委員の皆様、地区協議会会長宛てにお出しした。

【丸山 進会長】

我々にも案内が届いているので、会長からまだ連絡が行かないのだと思う。12月8日に第1回があり、出席者名、道路班、茶屋班の報告用紙が来ている。

他に質問はないか。

【清水委員】

高士地区の岩の原葡萄園までシャトルバスが延伸されるとのことだが、高士地区の内容もポスターなどに掲載されるのか。

【事務局】

掲載される。

【丸山 進会長】

(2) 牧小学校トイレ大規模改修について、事務局から説明願う。

【金井グループ長】

説明

【丸山 進会長】

この件について質問等はあるか。

(なし、との声)

(3) 平成29年度上越市新年祝賀会の開催について、事務局から説明願う。

【綿貫班長】

(資料により説明)

【丸山 進会長】

この件について質問等はあるか。

(なし、との声)

(4) 平成28年度冬期道路交通確保除雪計画書の配付について、事務局から説明願う。

【橋詰次長】

説明

【丸山 進会長】

この件について質問等はあるか。

配付資料4ページによると、2時は10センチメートルに達していなかったが、4時では達した場合、4時に出なくてはならないようだが、その場合7時までに終わるところを完了し、除雪できずに残ってしまった場合は通勤通学の後ということだが、それでは通勤通学できなくなる人も出てしまうのではないか。

【橋詰次長】

それに障りのない場所を先にとという考え方だと思う。ただ、牧の場合は一斉に出なくてもほぼ終わっているのが実情だと思う。

【丸山 進会長】

それであればよいが。通勤通学の後で除雪するくらいなら、除雪しなくてもよい。

【橋詰次長】

順番をつけて出ることができればよいのだが、基準にいたらないということであって

も、4ページの冒頭にも書いてあるように、今後の気象予報と除雪状況により判断することもあるので、当然どんどん降っていて、2時に10センチに達しなくても、4時までには10センチを超えることが経験則でわかっているならば出る、という判断もあろうかと思う。

【丸山 進会長】

そのような判断というのは必要だと思う。杓子定規にきちっと規則正しくやり、後で大変な問題になると困るので、臨機応変に対応をお願いしたいと思う。

【丸山 進会長】

なお、議事録委員の前山委員が途中で退席された。最後までいないと署名できないため、本日は折笠委員にお願いすることとする。

その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。